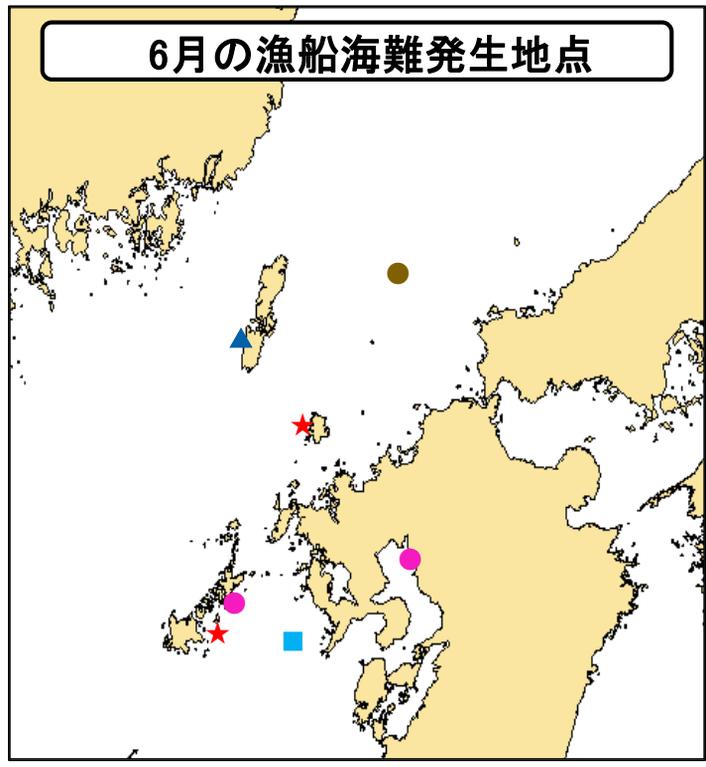


令和元年6月  
七管内漁船海難 計9隻

令和元年6月累計56隻(前年43隻)  
漁船海難の発生件数が前年に比べ増加しています。

漁船海難隻数 (速報値)		
衝突	★	4
転覆	●	2
浸水	▲	1
運航不能 (推進器障害)	●	1
運航不能 (機関故障)	■	1
合計 9 隻 (前年 8 隻)		

	県別内訳	
	6月	R1累計
山口県	0	5
福岡県	2	14
佐賀県	0	6
長崎県	7	24
大分県	0	7
合計	9隻	56隻 (前年43隻)



県別内訳表は、各県に所在する海上保安部署の担当海域にて発生した海難の合計数を示しています。数値は速報値です。



えい航救助されるA丸

**<事故事例（機関故障）>**

A丸は、操業中に突然、機関冷却水温度計の警報ランプが点滅し、オーバーヒートのため航行が出来なくなり、海上保安庁に曳航救助されました。

その後の調査において、海水ポンプのインペラーが破損し冷却水の循環が出来なくなり、オーバーヒートしたことが判明しました。



## 機関整備は確実に！

- ・洋上での機関故障等のトラブルは、長時間漂流し転覆や乗揚げなどの二次災害に繋がる恐れがあり大変危険です！
- ・定期的に専門業者に点検してもらうほか、確実な発航前検査を実施して、機関故障による事故を未然に防ぎましょう。

